

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	相模湖公園
指定管理者	一般社団法人相模湖観光協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

C

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<1 管理運営等の状況>提案に基づいて秋の花植えを桂北小学校、近隣自治会などの協力を得て実施、来園者の好感を得た。相模湖公園イルミネーションを一ヶ月半に渡り近隣のイルミネーション見学者にも喜ばれた。2月の大雪にはいち早く駐車場通路を除雪し近隣の学校の先生や会社員の臨時駐車場として利用するなど県民サービスに貢献し良好な管理運営であったためB判定とした。

<2 収支状況>収支状況は、収支差額が+-10%未満の範囲から、概ね計画通り実施されていたのでB判定とした。

<3 利用状況>相模湖公園イルミネーション等の広報活動に積極的に取り組んだが、下半期の天候不順及び2月の大雪のため、利用者数が前年対比85.7%となった。また、目標利用者数における目標対比増減率が77.4%となったため、D判定とした。

<4 利用者の満足度>個人により千差万別の考え方があがるが一年間苦情も無く園内清掃も行き届き、アンケートの結果から利用者には満足していただいたのでA判定とした。

<5 苦情・要望等>苦情は無かったがポスター掲示のほか職員・警備員の夜間巡回に於いて来園者に指導等があり努力がうかがえるためB判定とした。

<6 事故・不祥事等>園内乗り入れ禁止の自転車やスケートボード使用者等に職員が指導等を行い迅速な対応がうかがえるためA判定とした。

<今後の方針等>来園者が一日楽しく過ごせるように園内清掃、芝生の芝刈や構造物の点検、施設等の補修をし来園者が気持ちよく過ごすことを職員一同目標として管理運営していきます。

1 管理運営等の状況

評価 B

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 リスト から 選択	地域と共存し、観光客も訪れる魅力ある公園	2月の大雪には中央高道路及び国道20号線や県道412号線が4日間通行できなくなり相模湖公園内の駐車場連絡道路を駐車場と解放した。相模湖公園内の除雪に湖畔商店街の方々や近隣の協力により公園内の広場を早い時期に使用できるようにした。

	提案内容	実施状況等
2 リストから選択	地域の関係者を巻き込んだ魅力と活力ある公園実現	公園内でのイベントは下半期は、秋の桂北小学生との花植え、相模湖公園イルミネーションには地域の方々の協力を得て事業を遂行した。
3 リストから選択	秋の桂北小学校生徒との花植え 11月12日	年春、秋、2回の近隣の相模原市立桂北小学生5年生と、公園隣接の湖畔自治会、相模湖花を楽しむ会、相模湖観光協会会員と公園内花壇、プランターの花植えを実施し来園者が花の有る公園を楽しんで頂くよう実施した。
4 リストから選択	相模湖公園イルミネーション 12月1日～1月13日	旧相模湖地域は相模湖駅前とプレジャーフォレストと、公園主催するイルミネーションと湖畔自治会が設置する賑わい広場のイルミネーションと合同で約一か月半実行委員会を設置しイルミネーションを設置し来園者に楽しんでいただいた。
5 リストから選択		

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月20日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月20日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月29日	○	○	○	無	
1月	2月10日	2月20日	○	○	○	無	
2月	3月10日	3月14日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月23日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		31,200		16,400	47,600	47,600		0
年度計画	前年度	31,400	0	16,200	47,600	47,600	0	0
	上半期	17,100		9,700	26,800	26,800		0
	下半期	14,300		6,500	20,800	20,800		0
	今年度	31,200	0	16,400	47,600	47,600	0	0
	上半期	16,700		9,700	26,400	26,400		0
	下半期	14,500		6,700	21,200	21,200		0
通年実績	上半期合計	16,700		8,426	25,126	23,658		1,468
	対収支計画比	0.0%		▲ 13.1%	① ▲ 4.8%	② ▲ 10.4%	③	5.6%
	10月	2,000		971	2,971	2,922		49
	11月	2,000		1,832	3,832	2,930		902
	12月	2,500		1,017	3,517	3,411		106
	1月	2,000		676	2,676	2,612		64
	2月	3,000		190	3,190	2,828		362
	3月	3,000		626	3,626	6,566		▲ 2,940
	下半期合計	14,500	0	5,312	19,812	21,269	0	▲ 1,457
	対収支計画比	0.0%		▲ 20.7%	① ▲ 6.5%	② 0.3%	③	▲ 6.9%
通年合計	31,200	0	13,738	44,938	44,927	0	11	
対収支計画比	0.0%		▲ 16.2%	① ▲ 5.6%	② ▲ 5.6%	③	0.0%	
参考	前年度 下半期実績合計	14,300	0	5,201	19,501	21,299		▲ 1,798
	対前年度 下半期実績比				1.6%	-0.1%		

※その他収入の内容 駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	下半期の閑散時、修繕、補修工事を行う為予算を下半期繰り延べた。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期	2,115	防犯カメラ設備改修 737 噴水施設改修工 1,378
合計	2,115	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 D

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	9,384 人	10,631 人	88.3 %
11月	14,047 人	17,302 人	81.2 %
12月	9,886 人	7,632 人	129.5 %
1月	5,802 人	5,262 人	110.3 %
2月	1,740 人	5,700 人	30.5 %
3月	5,537 人	7,610 人	72.8 %
合計	46,396 人	54,137 人	85.7 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	46,396 人	54,137 人	60,000 人	① 77.4 %	② 85.8 %
上半期計	122,543 人	75,620 人	90,000 人	① 136.2 %	② 162.1 %
合計	168,939 人	129,757 人	150,000 人	① 112.7 %	② 130.2 %

※目標値の設定の有無

	設定している		
期間	通年	その他の場合の期間	=====
基準	前指定期間平均	その他の場合の基準	=====

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	上半期には5月の連休前にテレビ放映があり関東周辺からの来園者が多く目標を超えた。下半期には2月の大雪の為中央高速と国道20号線が4日間通行止めとなり来園者が減った。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	上半期には5月の連休前にテレビ放映があり関東周辺からの来園者が多く目標を超えた。下半期には2月の大雪の為中央高速と国道20号線が4日間通行止めとなり来園者が減った。

<参考>

施設の最大利用可能人数

								合計
定員(1日あたりの延べ人数)								0
年間利用可能日数								
最大人数	0	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位2段階 の割合
総合満足度の回 答結果	27	16	0	0	0	43	43 (100.0%)
〔参考〕 上半期結果	27	36	4	3	0	70	63 (90.0%)

※今年度の実施予定 上半期 6 回 下半期 4 回 その他 1.0

※配布・回収件数 配布 43 件 回収 43 件 回収率 100.0% %

※実施方法 利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管 課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
〔参考〕上半期結果	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 A

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		